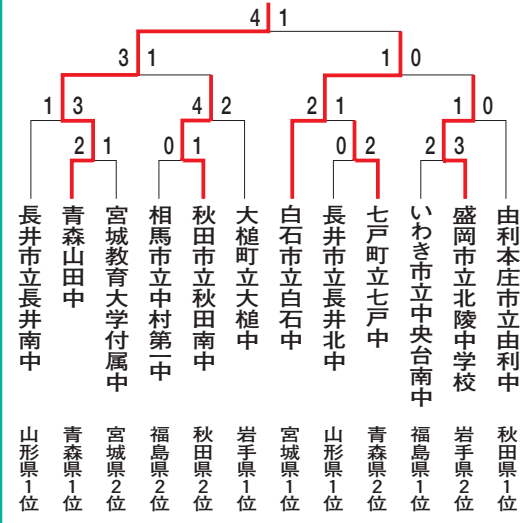
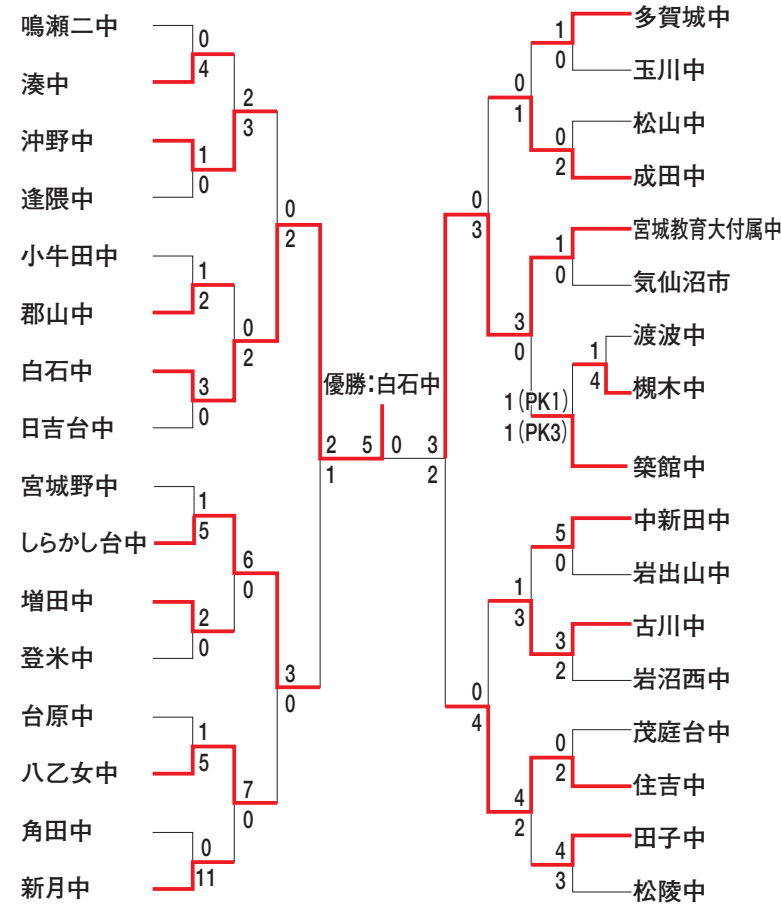


第26回東北中学校サッカー大会結果



▲東北大会決勝（対青森山田中）

平成17年度 第54回宮城県中学校総合体育大会サッカー競技結果



白石中学校サッカー部

第54回宮城県中学校総合体育大会で見事初優勝！



7月22日から行われた第54回宮城県中学校総合体育大会において、白石中学校サッカー部が優勝、仙南地区で初めて頂点に立ちました。さらに、イエローカード「0」でフェアプレー賞も受賞しました。

その後、宮城県代表として8月4・5日の両日、山形県鶴岡市で開催された東北地区大会に出場し、上位3校に与えられる全国大会の出場権を目指して熱戦を繰り広げ、決勝まで駒を進めました。決勝の相手は青森県第1代表の青森山田中学校。惜しくも1対4で優勝は逃しましたが、8月19日からの全国大会への切符を手にしました。

愛知県豊田市で開催された全国大会では、1回戦で山口県代表の鴻南中学校と対戦し、残念ながら1対3で敗れましたが、宮城県大会、東北地区大会を勝ち抜き、全国大会へ出場した白石中学校サッカー部の今年の夏は、とても熱く、そして素晴らしいものとなりました。



◀全国大会一回戦（対鴻南中）

全国大会までを振り返って

●監督 石川 裕之先生

技術面では、駅伝を中心に長距離、短距離など陸上競技の全てを経験させたことにより、素晴らしい技術力を身に付けることができました。しかし、サッカーの練習はグラウンドの上だけでなく、礼儀やあいさつなどの日常生活の充実こそが、真の強いチームをつくりだすという思いを子どもたちと一緒にもち、精神面を鍛えることに取り組んできました。

その結果が県大会の優勝であり、全国大会への出場であったと思います。

●主将 FW 庄司 和史さん

全国大会に出場したという実感がまだありませんが、上には上がいるなど感じました。負けてしまいました。自分たちのサッカーができたので良かったです。

●部長 MF 泉 佑樹さん

全国大会に出場してレベルの高さを知ることができ、とても勉強になりました。後半の残り3分で足をつってしまったことが悔しかったです。いい思い出になりました。

●FW 太田 博人さん

全国大会まで行けたのは、周りの皆さんの応援があったからだと思います。貴重な体験を通して心も体も成長できたと思っています。応援いただいた皆さんに感謝しています。

●DF 佐藤 純貴さん

全国大会を終えて、やりきったという感じです。試合では自分の力をすべて出すことができたという満足感と部活動が終わってしまうという寂しさを感じました。

●GK 高橋 範樹さん

全国大会では1回戦で負けてしまいましたが、このチームのみんなとサッカーができて、とてもうれしかったです。県大会で無失点を達成できなかったことがとても悔しいです。

最後に、3年生18名全員が、高校進学後もサッカーを続けたいと声をそろえて話してくれました。

「風」

コーチ 許 明坤さん

その風は、白石中学校の校庭から吹きはじめました。その風は嘘やねたみ、エゴやいじめなどはまったく無縁の純粋でさわやかな風でした。それをカッコイイと石川裕之は説いたのです。

その風は無風地帯と言われた宮城県南部から起こり、うねりとなって竜巻になりました。そして宮城県全土を駆け抜けたのです。

人々は単なるスポーツではなく、健全な心と体をはぐむ学び舎となった白石中学校の名を、全国に届けさせたこの素晴らしい風のことを語り継ぐことでしよう。